

一般質問発言通告書

議席番号 7番

氏名 村木勝也

答弁を求める者

(○をつける)

市長

教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 気象防災アドバイザー制度の導入による防災体制の強化について

令和8年熊本地震や各地で頻発する線状降水帯・局地的大雨を踏まえ、行政（公助）による迅速かつ確実な気象防災情報の発信や、災害減災に関する意思決定（避難指示の発令タイミングや庁内警戒体制の立ち上げ）の難しさが増す中、気象庁が認定する専門人材である「気象防災アドバイザー」の有益性が注目されている。

本制度の活用により、単に庁内（公助）の意思決定支援にとどまらず、出前講座や自主防災組織への助言を通じて、地域コミュニティ（共助）や市民一人ひとりの避難行動（自助）へ繋げていく今後の可能性について、以下の点について市の見解を伺う。

(1) 公助としての災害対応について

- ① 本年5月に気象庁の防災気象情報の見直しが行われ、避難情報との連動性が強化されたが、これを受けて市の避難判断マニュアル等の見直しや現場対応はどのように変わったのか伺う。
- ② 適切な避難情報を発令するための「気象情報の正確な解釈と予測」の高度化が課題となっている。本市における現在の気象情報分析体制の課題について、どのように認識されているか伺う。
- ③ 職員の専門性補完及び意思決定支援として、気象庁の「気象防災アドバイザー」制度に対する市の評価と認識を伺う。

(2) 共助・自助としての災害対応について

- ① 気象防災アドバイザーは、災害対応時のみならず、平時における職員研修や市民向けの出前講座、「マイ・タイムライン」作成指導など、地域全体の気象・防災意識向上にも大きく寄与すると考えるが、市の評価と見解を伺う。

② 本市では現在、本庁・各支所への消防職員の派遣、防災士資格を有する職員の配置、自衛隊 0B の任用など、非常に手厚い防災施策を推進されている。ここに「気象の高度な知見」を組み込むことで、地区防災計画の策定推進や自主防災組織の活性化（共助）、市民の避難行動や事前の備え（自助）を補完し、より強固な体制が構築できると考えるが、市の見解を伺う。

(3) 任用形態及び実効性のある運用体制について

- ① 気象防災アドバイザーの任用形態には、専任職員としての配置をはじめ、災害発生が見込まれる際の招へい、あるいは平時の研修会・講座等での単発委託など、様々な手法がある。本市の地域特性や施策規模に照らし、活用するならばどのような任用形態・協力体制が最も実効的かつ実現可能性があるかと捉えているか伺う。
- ② 激甚化・頻発化する気象災害に対し、専門人材の知見を活かした防災体制の構築は一刻の猶予も許されない。予算や体制整備を考慮し、次年度からの活用に向け、検討すべきと考えるが、今後の見解を伺う。

2. 有害鳥獣対策、とりわけ「熊対策」について

全国的に熊の市街地等への出没や人身被害が相次いでおり、本市においても市民の生命と暮らしを守るための対策強化が急務となっている。本質問では、行政が果たすべき役割（公助）、地域コミュニティでの共同対応（共助）、市民一人ひとりの被害回避行動（自助）の3つの視点から、本市の熊対策の現状と今後の取組について伺う。

(1) 浜田市の緊急銃猟をはじめとした対応の進捗状況（公助）について

- ① 改正法に基づく「緊急銃猟制度」について、本市における運用体制の整備状況と、島根県・警察・猟友会等との連携体制について伺う。
- ② 熊の出没が増加する中、通報受領から現場対応又は情報発信等までの初動体制や、休日・夜間対応を含めた現在の運用上の課題をどのように認識されているか伺う。
- ③ 地域の捕獲体制を将来にわたり維持・強化するため、猟友会への支援をはじめ、狩猟免許の取得支援や新規捕獲従事者の確保・育成に向けた市の方針を伺う。

(2) 地域での熊被害防止対策の補助事業の新設（共助）について

- ① 集落や自治会など、地域単位で取り組む熊被害防止対策に対し、市として現在どのような支援を行っているか伺う。
- ② 令和7年度まで実施されていた「鳥獣被害防止対策事業補助金（放置果樹の除去等への活動補助）」の実績や課題を踏まえ、これを再設計した市独自の新たな補助制度を創設する考えはあるか伺う。

(3) 熊が出没した場所のデジタル地図 (GIS) 公開による市民への注意喚起 (自助) について

- ① 市民一人ひとりが被害を回避できるよう、市として現在どのような情報発信や個人向けの支援 (公助) を行っているか伺う。
- ② 市公式ウェブサイト等において、出没日時・位置・クマの特徴等を地図上でリアルタイムかつ視覚的に確認できる「熊出没デジタルマップ (GIS)」を導入する考えはあるか伺う。
- ③ 通学路の安全確保に当たり、登下校見守り隊の方々に大変お世話になっている。この安全確保に際して、市として、熊の潜没場所となりやすい道路沿いの茂みや山林の伐採・刈払いについて、地権者への協力要請、又は市による伐採等有害鳥獣と人が暮らす「距離」空間整備も必要と考えるが、所見を伺う。